# 高野校だより

校訓　至誠　進取　自治　協同

舞鶴市立高野小学校
令和４年度　学校だより
第９号
令和４年 12 月１日発行

〒624-0832 舞鶴市高野台１－１
Tel　0773-75-0768 Fax78-3050
HP https://takano-maizuru.edumap.jp

## 「誰か」ではなく「自分」


もみじのじゅうたん（中庭）

赤やオレンジに染まった中庭のもみじが次々と地面を彩り、日一日と冷え込みが厳しくなってきています。晩秋から、冬へと季節がうつろいます。

先日の人権旬間スタートにあたり、集会において次のような話をしました。

『「自分を大切にしていますか」「相手のことを考えて行動していますか」「友達に悲しい思いをさせていませんか」人は、誰もが大切な「命、体、心」を持っています。自分の「命、体、心」を大切にするのと同じように、友達の「命、体、心」を大切にすること、それが人権を守るということです。

お話が上手でいつも発表している人、話はうまくできないけどいつも人の話をしっかり聞いている人、黙って一生懸命掃除をしている人、体育が得意な人もいるし、苦手な人もいるでしょう。図工が得意な人もいるでしょう。勉強は苦手だけど遊びは得意。一人一人が持つよさは違います。あなたにしかないよさもあります。みんな一人残らず、同じように大切にされなければならない。人権を守るというのは、こういうことでもあります。

ある本にこんなことが書いてありました。「悪くても、よくても、うわさはうわさ。ふり回されたらいけないよ。」という言葉です。うわさとは、「○○さんがそう言っていたよ。」とか「○○さんって◇◇らしいよ。」など人から人へ伝わっていく話のことです。うわさもそうですし、今、インターネットやＳＮＳでもいろいろな情報や意見、考え方が流れています。悪いうわさは、ある人を困らせるために、でたらめなことを誰かが流しているのかもしれません。よいうわさだって、ある人が自分をアピールするために、自分から流していることも考えられます。つまり、うわさというのは、本当かどうか分からないものであって、そのまま信じることは危険なことでもあります。そのせいで、まわりの人のことを正しく判断できなくなってしまう可能性があります。うわさとの付き合い方は慎重すぎるくらいがちょうどいいです。うわさよりも、自分で見たものや感じたことを信じる大切さを忘れないでほしいです。

一人一人の心の中には、「友達と仲良くしたい。」、「人にやさしく接したい。」という気持ちが、必ずあります。その気持ちを増やしたり、行動に移したりできるかどうかは「あなた」次第です。人権旬間で考えることは「誰か」のことではありません。安心できる学級を作るのも、いじめを無くすのも「誰か」ではなく「自分」なのです。気持ちのよい朝を迎え、気持ちのよい一日を過ごし、今日も「学校に来てよかった。」と家に帰り、「明日も来たいな。」と誰もが思える学校をみんなの力でつくりましょう。』といった内容です。

人権旬間では、自分の大切さ、友達の大切さ、「おかしいことをおかしい」と気付く力など、人間として大切なことを心の中にじっくりとはぐくむことができる取組をしているところです。

11 月に、聾学校舞鶴分校の子どもたちとの交流会を実施しました。この交流会は今年で 51 年目となり、半世紀もの間、交流を続けてきた歴史の重みを改めて感じているところです。交流する中で自然にかかわり合う子どもたちの姿が随所に見られました。また、自分たちの生活と比べたり、想像したりしながら、真剣なまなざしで話を聞いていました。聾学校舞鶴分校の子どもたちがどんなふうに生活を送っているのか、実際に困る具体的な場面はどんな時か、自分の進路を決めるにあたって考えたことなど、自分の生き様について堂々と語る姿から、何かを感じ、多くのことを学ぶことができたことと思います。自分と違う立場の人のことを考えたり、想像したりすることで、子どもたちは心で受け止め、自分たちの生活に活かそうとします。そしてコミュニケーションの力や相手のことを考える想像力を自然と身に付けていくのだと感じた交流会でした。

いよいよ２学期最後の月である師走となりました。保護者の皆様、地域の皆様には、引き続き学校教育推進へのご理解・ご協力をいただきますようお願い申しあげます。


登校風景

## 12月22日は高野小学校の誕生日（創立記念日）です

明治６（1873）年に陽明学校として産声を上げた高野小学校は、今年 12 月 22 日に 149 回目の創立記念日を迎えます。（来年度は 150 周年です。）創立当初は城屋に校舎がありましたが、明治 25（1892）年に野村寺に移転し、翌年に新校舎が完成しました。そして昭和 60（1985）年に現在の場所（高野台）に移転し、現在に至ります。毎日通い、学習に励んでいる学校ですが、創立記念日を機に、高野小学校の児童であることに誇りを持ち、胸を張ってたくましく生きようとする気持ちをはぐくむと共に、終業式や始業式などで歌う校歌の歌詞の意味やそれに込められた願いなどをかみしめながら歌うことができればと願っています。

校長　材木　敏志　　教職員一同